



会派代表



# 菊池 よしひと はた くに お 木佐木 てるお

住んで良かったと思えるまちづくりを目指して

### 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

日頃より私たち市民クラブの活動にご理解いただき、誠にありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスに対する感染症対策やワクチン接種に関する議案を多く審議してまいりました。市民の方々よりいただいた声を市民クラブ一丸となって市政に伝えてまいりました。そんな中、4月2日には蓮田駅西口行政センター（プレックス蓮田）がオープンし、多くの方にご利用いただいております。また夏には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの日本人選手の活躍に感動を覚えました。

私たちは、令和4年も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応、子育て環境や高齢者・障がい者福祉の充実、生活産業基盤の整備、市民協働の推進、防災・減災対策など多くの課題に全力で取り組んでまいります。市民のみなさまの声を力に変え活動してまいりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

市民クラブ議員一同

※公職選挙法第147条の2により、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類する挨拶状を出すことは禁止されていることから、個別の年賀状での挨拶は控えていただいておりますので、御了承ください。

## report.1 令和3年12月蓮田市議会定例会 議案報告



件名及び議決結果については [蓮田市のホームページ](#)→[市政情報](#)→[市議会](#)→[議決結果](#)でご覧になれます。

中野市長から令和3年12月定例会に提出された第68号から第91号議案（計24議案）については、審議され、全て可決・同意されました。その内容について主なものをご紹介します。

### 蓮田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（令和4年4月1日施行）

- 国民健康保険税の未就学児に係る均等割額を2分の1とする。

### 令和3年度蓮田市一般会計補正予算（第6号～第9号）

歳出の主なものは次のとおりです。

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業（3回目接種）（334,508千円）
- 蓮田中央小学校校舎増築工事設計業務委託（教室の増設）（31,000千円）
- 子育て世帯への臨時特別給付金事業（現金5万円を2回給付）（合計853,398千円）
- 水稻経営次期作支援事業（7,500千円）

米価下落の影響を受けた農業者に対し、主食用米作付面積1,000㎡当たり3,500円を交付。

## 01 蓮田スマートインターチェンジ(上り線)及び周辺の土地利用について

「蓮田市の発展、立地条件の良さを生かすにはスマートインターチェンジのフル化は必ず必要」との立場から過去に5回サービスエリア、スマートインターチェンジ関連の一般質問を行ってきました。フル化への工事が開始された現在の状況、そして今後の予定、川島地区の土地利用についての質問をさせていただきました。

## 蓮田スマートインターチェンジ(上り線)について

**質問** 進捗状況は。

**答弁** 令和3年7月にネクスコ東日本が蓮田スマートインターチェンジ(上り線)の工事に着手し、ランプ線出入口部分の道路工事やETC施設の設置工事などを進めています。市は埼玉県と共同し一般道からスマートインターチェンジにスムーズな誘導ができるよう市道、県道に標識設置や路面標示などを進めています。

**質問** 完成時期は。

**答弁** 工事が順調に進めば令和4年の春頃にはオープンできるのではと考えています。

## 蓮田スマートインターチェンジ(上り線)周辺の土地利用及び道路の整備について

**質問** 地域からの要望は。

**答弁** 令和2年3月27日には、蓮田サービスエリア上り線周辺土地利用協議会から「現在の農業系の土地利用から商業施設や工業系の土地利用へ転換したい」との要望書をいただいております。

**質問** (仮称)新SICアクセスルートとは。

**答弁** 蓮田スマートインターチェンジ(上り線)と岩槻区馬込や岩槻区北部工業団地(古ヶ場)を結ぶ構想路線です。蓮田スマートインターチェンジ開通後の交通事情等を確認し計画を進めたいと考えています。

私は元荒川右岸という好立地条件を生かせるよう、例えば東京への玄関口としての宿泊(休憩)施設の立地や、市内商工業発展のためのアクセスルートの構築の視点から蓮田市都市計画マスタープランに沿って、すみやかに計画をたてるよう求めました。



詳細については動画で見ることができます。

菊池義人YouTube 「蓮田スマートインターチェンジ及び周辺の土地利用について」



## 02 黒浜緑地について

黒浜緑地は、「蓮田都市計画事業黒浜土地区画整理事業」にて整備された現在の藤ノ木地内にあり昭和57年6月に事業決定され、平成29年1月に最後の換地処分をもって、竣工しました。また、この藤ノ木地内には、約12,000㎡公園(5箇所の合計)と11,000㎡の緑地があり緑豊かな地区でもあります。現在では緑地の管理の課題もあり、落葉の問題の他、倒木被害の報告もあります。

平成29年12月議会で一般質問をして以来、継続してこの課題に取り組んでまいりました。



詳細については動画で見ることができます。

菊池義人YouTube 「黒浜緑地について」



## 03 屋外スポーツ施設整備について



トモクグラウンド



馬込グラウンド

今回はパルシー屋外施設、小学校予定地(馬込グラウンド)、トモクグラウンドについてスポーツ団体等の利用状況、グラウンドの管理状況、課題について質問し、現在のグラウンドの必要性、総合グラウンドの必要性について確認しました。



詳細については動画で見ることができます。

菊池義人YouTube 「屋外スポーツ施設について」





## 01 円滑な3回目のコロナワクチン接種に向けて

新型コロナウイルスワクチン接種事業については、これまで令和3年3月議会と6月議会において、事業計画を明らかにし、市民の方の不安や要望実現のため、一般質問を行いました。その後更なる感染症対策として、12月からは医療従事者の3回目の接種が開始されました。5月14日から1回目の接種が始まった市民への3回目の接種は、2回目から8カ月後の令和4年2月から順次開始される予定です。そこで3回目の接種が円滑に実施されるよう、12月議会で一般質問を行いました。次の表は3回目の接種に関する主なものです。

| 質問内容      | 答弁内容（一部他からの情報を加えました。またその後の変更等があるかもしれませんので、 <b>最新情報をご確認ください。</b> ）  |
|-----------|--|
| 接種計画は     | 2回目の接種から原則8カ月を経過する方から順に接種券を送付し、接種をお受けいただきます。市内医療機関での個別接種を中心としながら、8カ月を経過する方の多くなる令和4年3月、4月と6月には総合市民体育館パルシーでの集団接種も併せて実施する予定です。またパルシーのシャトルバスも運行する予定です。   |
| 接種時期は     | 2回目の接種日から8カ月後の同日以降に希望者全員が遅滞なく接種できるよう、無料接種券を送付し、予約いただくこととなります。<br>（例）2回目の接種が令和3年7月16日→令和4年3月16日以降に3回目の接種が可能   |
| 予約方法と改善点は | 予約については、これまでと同様、LINE、Web、電話の3つの受付方法で行います。各医療機関での受付は行いません。予約電話番号は1・2回目と同様です。また改善点としましては、接種券の発送を小刻みに行うことにより、予約の分散化を図りたいと考えています。また、特に高齢者の予約時期を中心にコールセンターの大幅な増員や、公共施設での予約支援の拡充も検討しています。              |
| ワクチンは     | 1・2回目で受けたワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社製又は相当数供給されるモデルナ社製のワクチンを使用することとなります。予約の際にはどのメーカーのワクチンを接種するかお知らせする予定です。なお、現在、国・県から令和4年3月接種分（接種対象者数は約20,000人）までのワクチンの供給予定が示されており（両社合計で20,400回分）、必要なワクチン数は概ね確保できる見込みです。 |
| 課題等は      | ①市ではこれまでファイザー社製ワクチンのみを扱ってきましたが、3回目の接種ではモデルナ社製ワクチンも相当数供給されることから、2回目までとは異なるメーカーのワクチンを接種する交接種について市民の方の理解が得られるよう周知を図っていくこと、<br>②今後の感染状況の変化などに伴い早急な対応が必要となることも想定され状況の変化の見極めが必要なこと、などです。               |

## 02 市内の公園等について

**質問** 市民の実態に即した公園の在り方の検討状況や整備の考え方は。

**答弁** 市の公園は、区画整理事業や民間の宅地開発により造られた公園が主であり、市街化区域に集中している一方で、南新宿、閨戸、黒浜、貝塚、根金や平野地区には大きな公園はなく、数も限られています。市内の多くの公園が造られてから30年以上経過しており、市民の居住実態や利用者ニーズに即した公園づくりを研究するとともに、安全性に配慮しながら、公園整備に向けて努力してまいります。





## 農業集落排水事業について

**質問** 集落排水事業の目的は。

**答弁** 農業集落排水事業は、「農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水等を処理する施設の整備により、農業用排水の水質の汚濁を防止し、農村地域の健全な水環境に資するとともに、農村の基礎的な生活環境の向上を図ること」を目的とした事業でございます。



**質問** 集落排水事業の実施されている地域は。

**答弁** 蓮田市では「上平野地区」「高虫地区」「駒崎・井沼地区」「根金・貝塚地区」の4地区で事業を実施しております。

**質問** 各集落排水の利用状況については。

**答弁** 令和3年9月末日現在の処理区域内の供用人口は、上平野地区が672人、高虫地区が736人、駒崎・井沼地区が1,040人、根金・貝塚地区が889人で合計3,337人でございます。

令和3年9月末日現在の接続人口は、上平野地区が645人、高虫地区が633人、駒崎・井沼地区が903人、根金・貝塚地区が587人で、合計2,768人です。

令和3年9月末日現在の接続率は、上平野地区が95.5%、高虫地区が81.0%、駒崎・井沼地区が84.8%、根金・貝塚地区が65.5%で、全体では80.9%です。

**質問** 各施設の接続率向上対策は。

**答弁** 公共下水道事業につきましては、下水道法によって「供用が開始された場合においては、遅滞なく接続すること」が規定されており、接続を義務付けられているものでございますが、農業集落排水事業は、法令によって接続が義務付けられているものではないため、接続の勧奨も難しい面がございます。

しかしながら、健全な事業運営の観点から考えますと、接続率の向上は重要な課題でございますので、窓口等でのご案内や、リーフレットの配布などを行いながら、地元の維持管理組合の皆様のご協力もいただき、可能な限り接続を働きかけて参りたいと考えております。

**質問** 各施設の現状と課題は。

**答弁** 各施設共通の課題と致しましては、施設の老朽化とそれに伴う維持管理費用の負担です。処理場の各種機器やマンホールポンプなどにつきましては、必要に応じて毎年修繕や交換等の対応をしておりますが、計測設備は10年、ポンプ設備は15年など、それぞれ定められている法定耐用年数を過ぎている設備もあり、これらに必要な予算は今後更に増大していくと思われますので、事業の大きな課題と考えております。

**質問** 維持管理費用は。

**答弁** 農業集落排水事業の維持管理等に要している費用につきまして、令和2年度決算値では、収益的支出全体で税込み約164,500千円、令和元年度決算値では、税込み約164,900千円でございます。なお、このうち処理場の汚泥処理に要した費用は、令和2年度決算値で11,272,800円でございます。

**質問** 井沼地区未整備箇所の取り組みは。

**答弁** 井沼地区の残りの部分につきましては、閨戸地区の一部を合わせた約29.8ヘクタールが農業集落排水事業の整備を検討している区域となっております。しかしながら、農業集落排水事業の重要な要件となる「農家率」が2割を下回っておりまして、農業集落排水事業の事業目的との関係から、事業化が厳しい要因となっております。

こちらの区域の排水処理につきましては、今後他の手法も含めた中でより効率的で効果的な処理方法を検討してまいります。